

東京都 生産性 革新スクール

第4期
受講生
募集案内

募集期間

平成31年

4月1日(月) ▶ 5月24日(金)

モノづくりの
“よい流れ”を
創出する人材を
育成する

「東京都生産性革新スクール」とは？



⇒ 当スクールのねらい

グローバル化や少子高齢化・人口減少など、都内の中小企業を取り巻く経営環境はますます厳しくなっています。このような状況下において、企業として成長していくためには、新たな付加価値を創出するとともに、業務プロセスを効率化し、生産性を高めることが不可欠です。そのためには、常に「現場」を見つめ、「良い流れ」を創り出す人材を計画的に育成することが重要になります。

本スクールのねらいは常に前向きに生産性革新に取り組み、自立的に改善を進めることができる企業の中核人材を輩出し、魅力ある中小企業を増やすことにあります。



⇒ 当スクールの概要と特徴

生産性を革新する中核的な人材には、企業現役の方と企業OBの方がいると考えます。

- 中小企業の現場において、まさにその責を担おうとしている現役の方
- 大手のものづくり企業などで現場改善に取り組み、退職されたOBの方

当スクールは「東京大学ものづくり経営研究センター」（センター長：藤本隆宏東京大学大学院教授）のバックアップのもと、「良い設計 良い流れ」を意識した、現場実習を含む体系的なプログラムを用意しています。

また、講義も東京大学ものづくりインストラクター養成スクール等を修了した、現場支援経験が豊富な講師陣が対応します。

そして卒業後、現役の方は自社で生産性革新に取り組み、一方でOBの方々は都内中小企業に訪問し、現場支援を行います。※この2つの流れで都内中小企業の実産性革新を目指します。

1 講義と現場実習による体系的なプログラム

2 現場支援経験が豊富な講師陣

3 受講生同士・修了生との活発な交流

⇒ 講師紹介

校長 竹中 秀夫

グンゼ(株)出身。現場での生産管理・改善活動を経て、生産性向上、教育・人事と広範囲な業務に従事。東京大学ものづくりインストラクター養成スクール第11期修了。

講師 春日 宗夫

オリンパス(株)入社後、およそ30年間にわたり開発設計から製造、品質管理までものづくり現場に従事。東京大学ものづくりインストラクター養成スクール第3期修了。

講師 雨宮 利春

(一社)人材開発支援協会代表理事。商社入社後、1989年に経営コンサルタントとして独立、中小企業大学校講師や産業カウンセラーとしても活躍中。

インストラクター 青柳 芳郎

バイオニア(株)出身。30数年にわたり、新製品開発から品質保証まで、幅広くものづくり現場の改善活動に従事。ものづくりシニア塾第1期修了。

副校長 平尾 秀夫

(株)フジクラ出身。情報通信部品の開発設計から製造及び生産管理を経て製造部門の改善指導と共に製造会社設立を経験。ものづくりシニア塾3期修了。

講師 伊藤 雄三

山形大学特任教授。米国系超精密フィルターメーカーにて、経営全般、工場経営に関与する。多くの企業の現場改善指導や経営アドバイスを実施している。ものづくりシニア塾1期修了。

講師 柊 紫乃

愛知工業大学・経営学部、経営学科准教授。博士(経営情報科学)。専門は、ものづくり会計、現場改善会計など。企業現場での議論・分析から、理論の構築と検証を行う。

インストラクター 石戸谷 徹

大崎電気工業(株)出身。約30年間、新製品の研究開発、生産ラインの立ち上げ、製品のマーケティングに従事。ものづくりシニア塾第1期修了。

講師 堀井 求

キヤノン(株)出身。ものづくりにおける「淀みのない流れづくり改善」をモットーに現場改善に従事。東京大学ものづくりインストラクター養成スクール第2期修了。

講師 国谷 晃雄

キヤノン(株)取手工場生産技術部長他、ものづくり現場を歴任。東京大学ものづくりインストラクター養成スクール第1期修了後、国内外において生産性革新活動を支援。

講師 飛田 甲次郎

元オムロン(株)執行役員常務。関西IE協会副会長、日本電機工業会大阪支部長などを歴任。全体最適のマネジメントに関する最新知識をわかりやすく説明することに定評がある。



⇒ スクール利用企業の声



精電舎電子工業株式会社
取締役技術部長
渡辺 公彦氏

生産性を革新する中核的な人材育成

各企業とも、現場改善について体系的に学ばせ、生産性を向上させたいというニーズがあると思います。本スクールでは、中核人材育成の視点から知識を体系的に学習し、しかも企業の現場実習で、その活用方法について現場で体得できる大変有意義なものであると感じています。現場改善の「基礎」はもちろん、現場実習を通じて自社とは異なる「他社」の視点を得ること、同じような課題を持つ他社の同期生とのつながりを得たことは、受講生にとって大きな収穫となりました。中核人材として「ものづくり会計」や「全体最適による問題解決」等の手法を学ぶことは重要です。本スクールの今後に益々期待いたします。



株式会社大橋製作所
取締役
大橋 一道氏

インストラクター派遣との相乗効果で生産性革新

現場改善を如何に進めるかと考えていたところに、会社の方から本スクールのお話を伺いました。「良い設計 良い流れ」をベースにした改善手法を、現場実習も交えて学べるということで、将来の幹部候補社員に受講してもらいました。スクール受講生は、インストラクター派遣を活用して同時に取組んだ社内の現場改善活動メンバーでもありましたが、他のメンバーに良い気付きを与えてくれるのを見て、スクールに派遣して良かったと実感しました。現在、活動が継続的になるよう、スクール受講生を中心に新たなプロジェクトを立ち上げました。今後は、他のメンバーもスクールに派遣し、改善活動がより効果的になるようにしていきたいと思っています。

(注) インストラクター派遣は公社で別途実施しております。



第4期の募集について

募集期間 平成31年4月1日(月)～5月24日(金)

場 所 座学等 ……………公益財団法人 東京都中小企業振興公社 和泉町庁舎
〒101-0024 千代田区神田和泉町1-13 住友商事神田和泉町ビル 9F
現場実習 ……………実習先の企業様

募集定員 12名(企業OB3名程度を含む)

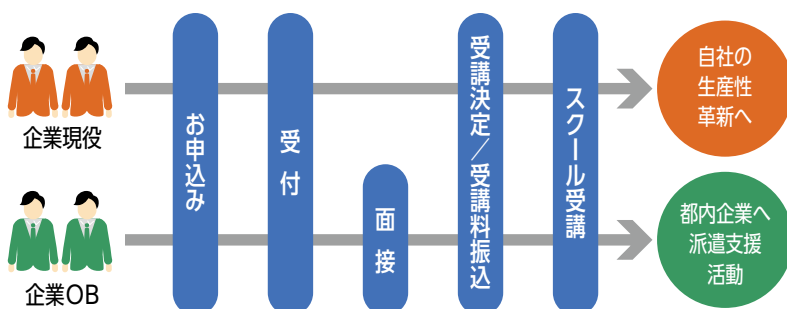
募集対象 次の①または②を満たし、生産管理や生産技術に関する経験があり、生産性向上の取り組みについて予備知識を有する方。

- ① **企業現役** …… ● 都内中小製造事業者の現場責任者、または幹部候補の方
- ② **企業OB** …… ● 大手、中堅製造業の工場などで現場経験が豊富である方。
(工場長など生産部門での責任者の経験のある方)
 - スクール終了後、都内中小企業へ生産性革新インストラクターとして派遣・支援活動が可能な方。

受講料 企業現役 15万円 / 企業OB 10万円

その他 現場実習において安全靴や作業服が必要になる場合があります。
また実習先企業の要望やルールを守った節度ある行動をお願いします。(秘密保持も含む)

申込み・受講の流れ



1 お申込み

必要書類(申込書、現役の方は加えて会社案内もお願いしております)を**5月24日(金)までに**(公財)東京都中小企業振興公社経営戦略課事業革新係あてにお送りください。申込書は当社の**Webサイトからダウンロード**できるほか、担当係でも配布しています。

カリキュラム(予定)

実施日		ねらい	9:30	12:30/13:30	16:30	16:40	17:30	
			午 前		午 後		プレ講習(予習)	
基礎編(座学)								
6月	21日(金)	概論	開講式	ものづくり基礎概念	競争力と企業パフォーマンス	品質管理	交流・懇親会	
	28日(金)		5S	納期・工程	在庫管理	コストと生産性	QCの基本	
7月	5日(金)	基礎	QCの基礎知識と活用(体験的なグループワークを含む)				休憩	IEの基本
	12日(金)		IEの基礎知識と活用(体験的なグループワークを含む)					会計・改善の基本
	19日(金)		ものづくり会計	現場改善の進め方(基礎編)		交流・懇親会		
	26日(金)		コミュニケーションとインストラクティングの基本					全体最適の基本
8月	2日(金)	実践	VA/V Eの基本知識と活用		全体最適による問題解決		問題解決の基本	
	9日(金)		全体最適による問題解決(事例によるワークショップ)				交流・懇親会	
	23日(金)		特別講義	IoTの現場活用(企業様での見学・講義)				
現場実習編(企業実習)								
8月	30日(金)	実習対応	現場改善の進め方(改善のステップ)				自主学習	
9月	6日(金)	現場実習	実習先企業見学と改善テーマの確認		企業・現場実習(今後の進め方・目標値の決定)			
	13日(金)		企業・現場実習					
	14日(土)		チームディスカッション					
	20日(金)		企業・現場実習					
	21日(土)		チームディスカッション					
	27日(金)		企業・現場実習					
10月	28日(土)	チームディスカッション						
	4日(金)	現場実習・成果報告会(現地)						
	5日(土)	現場実習・成果報告会(全体)			修了式	交流・懇親会		

(注) 12:30~13:30は昼食時間です。

(注) 本カリキュラムは暫定的なものです。予告なく内容を変更する場合があります。予めご了承ください。

(注) 基礎編(座学)または現場実習(企業実習)のどちらか片方だけの受講はできません。



2 お申込み受付/面接

先着順にお申し込みを受け付けます。

また企業OBの方は面接を実施します。

3 受講決定/受講料振込

選考結果は速やかに申込者宛にお知らせいたします。

受講が決定された方は、開講日までに指定する口座へ受講料をお振込みください。

4 スクール受講について

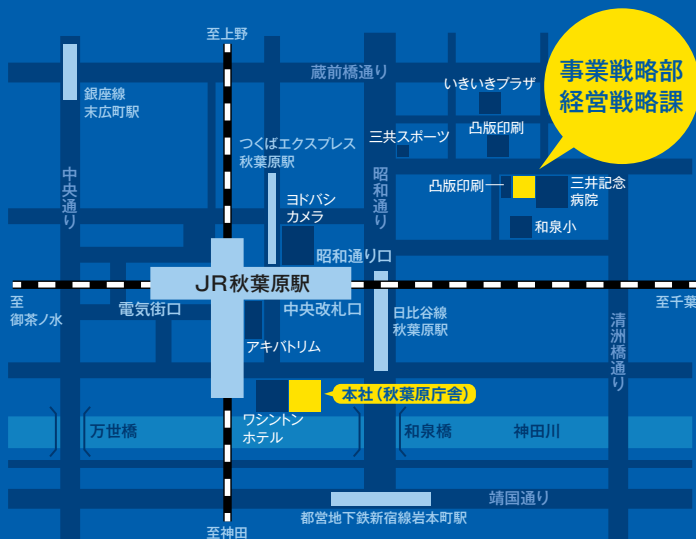
受講期間は**平成31年6月21日(金)から、10月5日(土)までの全19日間**です。(別記カリキュラム参照)開講前に「ものづくり改善入門」(藤本隆宏著・日本経済新聞社)を配布致します。

5 修了の要件について

全体の出席率が8割に満たない場合、修了証の発行をしない場合があります。



TPI Tokyo Productivity Innovation School



公益財団法人 東京都中小企業振興公社

事業戦略部 経営戦略課 事業革新係

〒101-0024東京都千代田区神田和泉町1-13住友商事神田和泉町ビル9階

TEL 03-5822-7250

FAX 03-5822-7235

E-mail seisansei@tokyo-kosha.or.jp

ホームページ <http://www.tokyo-kosha.or.jp/>

- JR線・つくばエクスプレス「秋葉原駅」徒歩10分
- 東京メトロ日比谷線「秋葉原駅」徒歩10分

平成31年4月作成。本紙の内容は、予告なく変更する場合がございます。